研究課題名

小児患者で血液培養採取時の皮膚消毒薬剤の違いにおける血液培養コンタミネーション率の検討

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H29中倫小第96号）

研究実施についてのお知らせ

　沖縄県立中部病院　小児科では、菌血症を疑う小児患者における血液培養のコンタミネーション率に関する研究を実施しております。

平成 30年3月 12日

【研究課題名】

血液培養採取時におけるイソジン、アルコール綿使用によるコンタミネーションの検討

【研究期間】

2018年3月～2019年12月末

【調査対象】

当院救命救急医療センターにて菌血症を疑われ、血液培養検査が行われた6歳以下の方

【研究目的・意義】

　小児患者における血液培養採取時のコンタミネーション割合を明らかにし, 実臨床における血液培養採取方法を検討する.

【研究の方法】

　沖縄県立中部病院における単施設横断研究

研究の場所:　沖縄県立中部病院

対象者の選択:

- 取り込み基準：沖縄県立中部病院救命救急医療センターにて, 菌血症を疑われ、血液培養検査を提出された6歳以下の患者

- 除外基準：中心静脈ライン確保時に採取された血液培養検査を提出された者

- 標本規模及びその算定根拠：適格基準に合致する全ての患者を対象とする

対象者登録期間:　2008年1月1日から2017年12月31日

調査にあたっての方法:　診療録を用いたretrospectiveな検討

【個人情報の取扱い】

研究に用いられるデータは連結可能匿名化の処理がなされます。患者さんのお名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心ください。調査したデータは研究終了後、一定期間経過後に責任を持って破棄します。

また、今回の研究で得られた成果を学会や学術雑誌等で報告することがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

　この件に関しましてご質問などがございましたらご遠慮なくお尋ねください。

 【資金提供】

論文掲載料として、琉球大学医学部臨床研究教育管理学講座から助成の見込み。

【研究機関】

沖縄県立中部病院小児科

【本研究に関する問い合わせ先】

セクション名・氏名・住所・電話番号（内線番号）等

沖縄県立中部病院小児科　研究責任者　　吉年俊文　098(973)4111